

講義名	日本語D【留学生科目】		
科目区分	留学生		
担当教員	尾崎 美千代		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	32063

主題と概要

日本語の口頭表現の中で、この授業では「プレゼンテーション」と「ディベート」を取り上げていく。前半は問題提起としてニュースのDVDを視聴した後、各自資料を調べて発表する。プレゼンテーション能力を高めるために必要な日本語表現を学ぶ。また、質問者として必要な日本語表現も同時に習得する。後半は、前半で身につけた会話能力を生かして、各グループでディスカッションを行いディベートを行う。客観的な資料に基づくディベートの基本を学ぶ。

到達目標

自分が調べてきた資料を聞いている人にどれだけ分かりやすく伝えることができるか工夫をする。グループで力を合わせて、自分達の主張を堂々と発表することができる。ディベートで相手を説得できるだけの日本語能力を身に付ける。

提出課題

各自発表用のレジュメ
ディベートの分担原稿

評価の基準

提出物（20％） 発表（20％）
ディベート（40％） [取り組み度・発表]
出席率（20％）

履修にあたっての注意・助言他

出欠は毎回とる。
5回以上欠席すると、単位取得を認めない（20分以上の遅刻は入室を認めるが欠席とみなす）。
受講生数によって、授業計画を変更する可能性がある。

教科書

・必要に応じて、プリントを配布する。・

プリント資料及び参考文献

『日本語 口頭表現と討論の技術—コミュニケーション・スピーチ・ディベートのために—』
東海大学留学生教育センター口頭発表教材研究会編 東海大学出版会

『会話に挑戦！中級前期からの日本語ロールプレイ』
仲居順子ほか著 スリーエーネットワーク

『研究発表の方法～留学生のためのレポート作成・口頭表現の準備の手引き～』

授業計画

- 1 ガイダンス（授業の進め方及びスケジュール、評価方法について説明） 自己アピール紹介
- 2 発表準備（DVD視聴・新聞記事読解） レジュメの書き方
- 3～4 指定されたテーマで発表
- 5～6 各自自由なテーマで発表
- 7 ディベート導入（対立意見の発表の仕方） ミニディベート
- 8 ディベート導入（資料収集） モデルディベートを読む グループ分け
- 9 ディベート準備（資料収集） DVD視聴 論点すりあわせ
- 10 ディベート準備（資料収集） 立論作成（全員） 役割分担決定
- 11 ディベート準備（資料収集） 分担原稿執筆
- 12 ディベート準備（資料収集） 分担原稿執筆及び原稿チェック
- 13～15ディベート本番

予習・復習

各自発表準備（PPT及びレジュメ作成等）をしっかりとってくること。
ディベートでは、グループでの練習及び各自の分担箇所練習を課す。

備考